

令和7年度 第1回 橋本市新庁舎整備検討委員会における主な意見の概要と資料への反映・対応

【資料1】

(参考) 第1回 橋本市新庁舎整備検討委員会次第	
1 開会	6 議事
2 市長あいさつ	(1) 新庁舎整備基本構想策定方針 【資料3,4,5】
3 委員紹介 【資料1,2】	(2) 現状と課題（基本構想第1～2章）について 【資料6】
4 委員長、副委員長の選出	(3) 基本理念・基本方針の検討について 【資料7】
5 委員長あいさつ	7 その他 次回の議事（予定）と開催時期について
	8 閉会

No.	意見分類	第1回 橋本市新庁舎整備検討委員会における主な意見の概要	意見に対する市の考え方 基本構想検討案への反映・対応
1	基本構想策定・全体に係る考え方	• 市として、行政の展望がない。その中で、行政サービスを提供するための施設を検討することに、大きなハードルがあると感じる。	• 長期総合計画、都市計画マスター・プランなどの長期計画でもシビックゾーンのあり方を検討している。シビックゾーンは、都市拠点として行政サービスや生活拠点施設の中心に位置づけしており、市内行政・商業の将来を考え施設を検討する必要があると認識している。これに加え、防災拠点となりうる建設も考慮しなければならないと考えている。
2		• 本委員会で事務局案を大きく変えるような意見（民間施設に入居する案や山の上に建てる案等）を出して良いか。出した意見に対して、市にて検討していただけるのか。	• あくまで事務局案であるため、構想を策定するうえで必要な意見は吸い上げさせていただき検討する。
3		• 2年間で基本構想・計画の全てを検討し尽くすのは難しくないか。一部を検討結果として示す進め方も考えられるのではないか。	• 第1回委員会【資料4-1】に示すスケジュールに基づき、基本構想・基本計画の内容を網羅的に検討する方向。
4	意向把握調査	• 働き方が変わってきており、先進事例を知らない職員に実施するアンケートを基に、新庁舎を検討するのは良くないのではないか。職員の中で若手研究会を作る等、新しい働き方を勉強した上でアンケートを実施すべきではないか。	• 現時点での要望の把握や庁舎整備に対する意識の醸成も目的のひとつとして実施。基本計画において、より踏み込んだ調査を実施予定。 • 今後、庁内ワーキング等の内部検討における議題とするとも考える。
5		• 課題の分析だけでなく、現状の意見からは拾えない新たな視点の提示も重要。	• 新たな視点について、先行事例も踏まえながら整理・提示する。
6		• 将来の行政に興味を持つもらう意味合いで、中高生に対して市民アンケート等意向把握調査を実施するはどうか。	• 最終的な参加応募はなかったものの、市民ワークショップでは市内高校へのチラシ配布・周知を実施した。基本計画等具体的な段階で意向を聞くなどは可能と考える。

No.	意見分類	第1回 橋本市新庁舎整備検討委員会における主な意見の概要	意見に対する市の考え方 基本構想検討案への反映・対応
7	現状・課題	・現庁舎は会議室が少ない。	・基本構想（検討案）「第2章 現状と課題」において記載【資料4 p.8～参照】
8		・窓口や課が煩雑で分かりにくい。健康福祉部や上下水道部も別の建物に離れている。	
9		・駐車場が狭く、使いづらい。国道へ出る際も右折がしにくい。	
10	新庁舎のあり方	・どのような場所にしたいのか、新庁舎が市民や市に対してどのように貢献できるのかという視点で、新庁舎を検討する必要がある。	・基本理念や方針について、整理していきたいと考える。 具体的な役割や機能については引き続き検討する。
11		・AIを活用した窓口業務など、将来の変化を踏まえた検討が必要。	
12		・コミュニティの場所、少し寄ってみようかなと思える場所が市庁舎にあっても良いのではないか。	
13		・基本方針について、事務局案は教科書的で橋本市独自のアピールポイントが無いように感じる。	
14		・キーワードとして、「サードプレイス」、「開かれた市庁舎」は一つの考え方として良いのではないか。	
15		・費用をかけてつくる意義が必要。 ・課題解決のための整備ではなく、ワンストップ化等サービス向上のための建替えに意義がある。	
16	基本理念・ 基本方針	・事務局案の6つの基本方針は、「行政サービスの効率化」、「市民サービスの改善・向上」、「地域の魅力発信」の3つに集約できるのではないか。 ・「行政サービスの効率化」は、DXを含めた働き方改革、業務の見直し、フレキシブルオフィスの考え方、「市民サービスの改善・向上」は、サードプレイスや市民参加ができるコモンズ、「地域の魅力発信」はIT活用や情報共有の場の提供などに繋がる。	・橋本市独自のアピールポイントについては、意向把握調査結果や委員会でのご意見、市における考え方・方向性に基づき更新する。 ・頂いたご意見・キーワードを適宜反映。【資料4 p.22 参照】
17		・建設場所の議論をする前に、庁舎機能を分散させるのか集約化するのかを決める必要があるのではないか。市が分散化を決断する可能性はあるのか。	
18		・所属団体では、分散化はやめてほしい、庁舎建物を高層化しても1箇所にまとめてほしいとの要望を多く聞く。	
19		・保健福祉センター機能の集約・複合化について検討すること自体はできると思うが、その場合は保健福祉センターを整備した経緯説明も同時に必要になる。	
			・集約・分散に関しては、「第5章 整備の方向性」で検討・整理予定。

No.	意見分類	第1回 橋本市新庁舎整備検討委員会における主な意見の概要	意見に対する市の考え方 基本構想検討案への反映・対応
20	集約・分散	<ul style="list-style-type: none"> IT化が進むのであれば、無理に集約しなくても良いのではないか。 	
21		<ul style="list-style-type: none"> 防災に関して、市単独で対応することは難しく、広域対応できる拠点が必要ではないか。オフィス部分（庁舎機能）と防災拠点を分けて建設することも案として考えられる。 	
22	建設位置	<ul style="list-style-type: none"> 市民目線としては、市の様々な整備事業によって施設がどこに集まるのか、どれだけアクセスしやすいかが重要。アクセスのしやすさに関して、駅からあまり離れてしまうと訪れにくい印象がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 建設位置については、「第4章 新庁舎の建設位置」で検討・整理。【資料5-1、5-2参照】
23		<ul style="list-style-type: none"> 橋本市の東西及び南北に走る大きな幹線道路が、災害時に重要な移動経路となるため、そこへのアクセスが不可能な場合は防災機能が働かない。現庁舎の場所についても、本当に対応可能な場所か検討が必要。 	
24	機能・方策	<ul style="list-style-type: none"> オンライン対応が増えているため、大きな会議室ではなく個別ブースが必要になるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な機能・方策については、基本計画において検討・整理予定。
25		<ul style="list-style-type: none"> オンライン対応が広がっている時代ではあるが、市民・職員にとって会議室は必要。十分な広さのものを多く設けてほしい。 	
26		<ul style="list-style-type: none"> 全てをワンストップ化し、サービスの向上を図り、全国的にも先駆的な事例となる最大のチャンスかと思う。 	
27		<ul style="list-style-type: none"> 庁舎内の点字ブロックの代替として、ソフトマットを導入することを検討してほしい。 	
28		<ul style="list-style-type: none"> 災害への対応、防災についても検討する必要がある。 高野口にある保健所との一体整備の可能性はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 県への意向確認をする中で、現時点では保健所との一体整備を望む意見は出ていない。
29	事業費・事業手法	<ul style="list-style-type: none"> 県内をはじめとする良い先行事例を参考にすると同時に、事業費を見据えた取捨選択や活用可能な財源の整理が必要と感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 活用可能な財源については、基本構想「第6章 今後の進め方」や基本計画において整理予定。 事業手法は、基本計画において、民間意向も把握しながら検討・整理予定。
30		<ul style="list-style-type: none"> 限られた財源の中で着実に整備を進めるためには、譲れないポイントを整理し、基本構想の中で決定していくことが必要。 	
31		<ul style="list-style-type: none"> 資材の高騰を加味し、民間投資の活用も考えた計画とすべきではないか。庁舎は市民施設ではないため課題も多いが、例えば民間施設に入居することも考えらえる。また、建設場所の検討が必要になるが、庁舎内に一部市民施設や民間施設を入れる計画もできる。 事業規模の観点から、PFIに期待しすぎない方が良い。 	

No.	意見分類	第1回 橋本市新庁舎整備検討委員会における主な意見の概要	意見に対する市の考え方 基本構想検討案への反映・対応
32	事業費・事業手法	・緊急防災・減災事業債を河川氾濫・洪水エリアに適用できるよう提案することも案として考えられるのではないか。	
33		・資金は、活用可能な補助金・交付金を細かく積み上げて進めていくほかないと考える。	